

2014年7月4日

各 位

株式会社 クレハ

## 中国におけるフッ化ビニリデン樹脂（PVDF）製造設備の竣工式を開催

本日、株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：小林 豊、以下「クレハ」）の子会社である呉羽（常熟）氟材料有限公司（※氟＝フッ素）において、フッ化ビニリデン樹脂製造設備の竣工式を開催いたしましたので、お知らせいたします。

クレハは、リチウムイオン電池（以下、「LiB」）用バインダーおよび一般産業用エンジニアリング・プラスチックとして使用されているフッ化ビニリデン樹脂の需要の拡大に対応するため、2012年1月に中華人民共和国江蘇省常熟市にフッ化ビニリデン樹脂製造子会社として呉羽（常熟）氟材料有限公司（以下、「呉羽常熟」）を設立しました。

呉羽常熟では2012年6月に年産5,000トンの製造設備の建設に着手、2014年4月には製造設備の試運転を開始しました。そして本日、王颺常熟市人民政府市長をはじめとする地元関係者、建設工事関係者、ユーザーなど多数の方々にご出席いただき、竣工式を開催いたしました。



(写真：竣工式でのテープカット)



(写真：工場外観)

呉羽常熟での年産5,000トンの製造設備の竣工により、クレハいわき事業所（福島県いわき市）の年産4,000トンの製造設備と合わせ、クレハ・グループで合計9,000トンのフッ化ビニリデン樹脂の供給能力を持つこととなりました。この市場において、今後の世界的な需要伸張に対応できる安定的な供給体制を整えたことによって、ニーズを的確に捉えながら開発・製造力を磨き高品質の製品を提供してきたクレハ・グループの競争力と存在感が、さらに高まるものと確信しております。

### 【呉羽（常熟）氟材料有限公司の概要】

所在地：中華人民共和国江蘇省常熟市常熟新材料産業園区海平路2号

資本金：60百万USドル（当社グループ100%出資）

設立時期：2012年1月

董事長：松尾 修介（クレハ取締役常務執行役員 高機能材・PGA部門統括）

設備能力：フッ化ビニリデン樹脂製造設備／年産5,000トン

設備投資額：約75億円

(ご参考)

クレハは、高分子重合技術をベースとして1970年に日本で初めてフッ化ビニリデン樹脂の工業生産を開始しました。以来、フッ素樹脂としての耐薬品性や電気的特性などの優れた性能と汎用樹脂並みの成型加工性を持つバランスの取れたエンジニアリング・プラスチックの特長を活かし、LiB用バインダーや、耐食バルブなどの一般産業用として、様々な用途で使用されてきました。

LiB用バインダーは、携帯電話、高機能携帯端末、ノートパソコン向けの民生用小型LiBの数量拡大に伴い今後も安定的な需要拡大が見込まれるほか、EV、HEV、PHEV向けの車載LiB用途や電力貯蔵用定置型電源用途などの大型LiB用向けに需要拡大が見込まれています。

また、一般産業用においても、国内外からの旺盛な需要に加えて、太陽電池用バックシート向けや水処理用中空糸膜向けでの需要拡大が見込まれています。

※ フッ化ビニリデン樹脂 = PVDF : Polyvinylidene fluoride

※ バインダー ~ 正極ではアルミ箔に正極材を、負極では銅箔に負極材をそれぞれ塗布するときに使用する接着剤。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先> 広報・IR部 TEL : 03-3249-4651